

基本目標1 あびこを支える産業を応援し、いつでも働けるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者評価	有識者コメント
4-2 就労支援の充実	企業立地推進課	地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	%	18.4 (R1)	20.6	22.9	達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●地域職業相談室を通じて就職した人が増えた理由として、セミナーの参加者が多かったことが挙げられているが、柏、我孫子エリアでも賃金アップが進んでおり、今まで遠くで働くことを選んでいた人たちが近場も選択肢に入ってきた可能性や、子育て中の方が就労していないと保育園・幼稚園に入れられないためといった様々な事情も市として把握しておくべきで、もう少し深いところで分析が必要。 ●国の認定制度について、企業にとって利益的な部分のメリットは直接的にはなく、企業価値を上げるイメージ戦略として機能しているものであると認識している。市が子育てや女性の活躍などに力を入れていくのであれば、それに賛同する企業を増やしていく必要がある。認定事業者数ではなく、制度の認知度を上げていく取組自体を指標とすべきで、積極的なPRが必要。 ●一般就労への移行者数が目標値を大きく下回る数値となったことについて、就労支援センターを利用せずに直接就職するケースが増加したことを理由にしているが、直接就職した方の人数も把握しておく必要がある。
	企業立地推進課	働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	件	3 (R2)	4	3	未達成		
	障害者福祉センター	障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	%	100 (R1)	100	94	未達成		
	障害者福祉センター	障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数	人	19 (R1)	19	6	未達成		
4-3 商工業の振興	商業観光課	商店街団体等への年間支援件数	件	16 (R2)	17	20	達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●商店街団体等への支援について、マンネリ化を解消するために定期的なてこ入れをすべき。他市で新規の取組に補助額を上乗せする制度の提案をしたことがある。 ●市内の事業者数が前年度から170件増えているが、新規で事業を始めた数、廃業した数の把握や、業種や規模を含めた事業者の分析をすべき。 ●市の融資制度の新規融資件数が伸びていないが、車両など残価設定での設備投資も増加傾向にあるため、新規融資が増えていないから設備投資を進めていない、という判断は一概にはできないのでは。 ●創業支援等事業や融資制度の目標達成に向けて周知方法を検討していくとコメントがあるが、広報やチラシ配布だけでなく、商工会と連携した具体的な取組みが求められる。融資制度は多様化しており、市の制度である利子補給もメリットはあるものの、手軽に活用可能なメニューに比べると劣勢とも言える。
	商業観光課	市内の事業者数(納税義務者数)	件	4,312 (R2)	4,408	4,644	達成		
	企業立地推進課	「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	件	53 (R2)	76	75	未達成		
	企業立地推進課	「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	件	14 (R2)	26	22	未達成		
4-1 企業立地の推進	企業立地推進課	創出した産業用地で働く市民の数	人	—	0	0	達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●柴崎地区産業用地の新たな造成は、当初想定していた事業スケジュールでは進めることが困難であり、計画自体も先が見えていない状況であるので、指標を変更せざるを得ないとする。
	企業立地推進課	企業立地に対する支援制度を活用した企業数	件	—	1	1	達成		
4-4 農業の振興	農政課	農地利用集積面積	ha	275.5 (R2)	313.7	310.7	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●農地の集積は指標としては未達成だが、現在農政課が地域における担い手の整理を進めているとのこと。また我孫子市は新規就農者を手厚くサポートしているので、今後もバックアップを続けてほしい。 ●新規就農希望者に対して営農計画や農地の賃貸借までサポート体制を実施したとあるが、新規就農者にアンケートを取り、市が行ったサポートとその感想を公表することで新規就農者の増加につながるのではないかと。 ●直売所の売上額を指標としているが、物価高でどこでも売上額は上がっているはずで、レジ通過者数が減少していることを考えると良い状況ではないと思うので、レジ通過者数や利益率など、正しく評価できる指標を立てるべき。 ●加工品に関しては、他地域の加工品を参考に新商品を開発すべき。 ●東葛地域では、柏＝カブ、松戸＝ネギという売りがあるが、我孫子市はブランド的な農産物はなく、少量多品種を推している。新鮮さや珍しい野菜などを求める近隣のレストランなどにニーズがあると考えられるが、地元野菜を使うことだけでは、地元以外の顧客にはそこまで魅力的ではない。農政課のサポート体制として、販路の支援を強化することで、市内農業者の活性化を図れると考えられる。
	農政課	新規就農者の経営体数	人	20 (R2)	24	24	達成		
	農政課	「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	人	29 (R2)	34	30	未達成		
	農政課	農産物直売所年間売上	千円	225,074 (R1)	236,716	276,445	達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度施策評価結果一覧表

基本目標2 あびこの魅力があふれ、にぎわいを生むまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者評価	有識者コメント
5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	建築住宅課	市営住宅の入居率	%	91.8 (R2)	94.5	90.5	未達成	良好とはいえない	●市営住宅の入居率について、工事や修繕の影響で目標を達成しなかったとしているが、その分析は妥当なのか。部屋が空いているのに応募がない状態の部屋があったとすれば、所管課長コメントに記載されている、常時募集により改善を図ることなどを今後の展望として記載すべきではないか。
	建築住宅課	空き家バンク累計登録件数	件	4 (R2)	15	12	未達成		
5-5 利用したくなる公園の整備	公園緑地課	公園・緑地の面積	ha	150 (R2)	150	150	達成	良好とはいえない	●施策の目的・内容が、誰もが利用したくなる公園づくり、安全・安心に利用できるための維持管理であるならば、設定されている3つの指標では評価がしづらい。未達成の項目が多い中で、所管課長の評価コメントに記載されているように概ね目標を達成したとは評価できない。 ●公園の維持管理はお金がかかることが多いが、設備の定期点検を行い、地道な取り組みがあればその点を報告してほしい。 ●公園面積の維持をすることが目的であれば、何もなくても目標達成となる。行政の取組みを評価すべきであるので、公園への巡回回数やアンケートの結果などを活動指標にしてはどうか。 ●安全・安心に利用できる維持管理を中心にしながらも公衆衛生面では必ず守らなければいけないこともある。市民ニーズを的確に捉えるためにも、所管課が公園の役割を考えた上で、来年度は行動目標などを指標として設定してほしい。
	公園緑地課	市民手づくり公園の活動団体数	団体	10 (R2)	13	9	未達成		
	公園緑地課	市民手づくり公園の数	園	12 (R2)	15	11	未達成		
6-2 自然環境の保全	手賀沼課	手賀沼のCOD年平均値	mg/L	10.0 (R2)	7.7	9.8	未達成	良好とはいえない	●CODの目標値が令和9年度までずっと7.7mg/Lとなっているが、実績値は横ばいとなっている。目標達成に向けた取組みや近隣自治体との連携状況を明らかにしてほしい。 ●企業としてボランティア清掃を実施しているが、親子参加型にすると、教育的な意味からも参加率が上がり、若い世代の参加促進となっていることから、市も参加者増加に向けて工夫が必要である。 ●企業もCSRに取り組んでいるので、上手く参加を促せるイベントを企画できると参加者が増加するのではないか。千葉県でバスツアーに対しての補助事業があるので、上手く活用して、ごみ拾い+バーベキューのような企画をしても面白いのではないか。 ●施策評価のコメントが昨年と変わっていない部分がある。市民との環境保全活動を推進していくと記載があるが、市民としては動きが見えてこなかった。学校や市民団体などにPRをもっとすべきである。
	生活衛生課	市内で生育・生息している特定外来種の確認数	種	18 (R2)	18以下	20	未達成		
	公園緑地課	緑の確保量	ha	1,566 (R2)	1,579	1,561	未達成		
	手賀沼課	手賀沼清掃参加団体	団体	19 (R1)	19	14	未達成		
	手賀沼課	環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	回	7 (R2)	7	7	達成		
	公園緑地課	みどりのボランティア登録者数	人	408 (R2)	455	522	達成		
	公園緑地課	古利根沼水辺清掃参加者数	人	18 (R2)	22	20	未達成		
	治水課	利根川河川清掃参加者数	人	111 (H30)	114	87	未達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
戦略的なシティ プロモーション	秘書広報課	魅力度(地域ブランド調査順位)	位	590 (R3)	543	553	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●指標となっている地域ブランド調査は全国調査であり、我孫子市に適しているかどうかは考えるべきだと昨年から申し上げているところで、指標名に地域ブランドとあるが、我孫子市にとってのブランドとは一体何なのかという思いもある。手賀沼がその1つと言えると思うが、展開内容における移住促進に関して言うと、自然環境を守りつつ人口流入を目指してほしい。指標についても我孫子市に適しているものをもう一度考えるべき。 ●全国順位は重要視する必要はなく、どちらかといえば上昇していれば良い程度のもので捉えている。この順位で1位になるのは難しく、徐々にこの施策での取組が功を奏しているのであれば、評価すべき。 ●メディアでの取り上げ回数でいえば、昨年度は映画でのフィルムコミッションの話題もあり「我孫子」というワードが耳に入ってきた印象がある。指標は未達成だがやろうとしていることは徐々に伝わってきているのではないかと捉えている。 ●転入超過が継続しているということなのであれば、指標として評価すべきは転入者の数だけでも良いのでは。シティプロモーションはそのためのものであり、我孫子市の様々な部署が色々な施策に取り組んでいることをいかに魅力的に吸い上げて外に出すかが業務の本質である。 ●メディアでの取り上げ回数は、ネット記事は転載が多く、1つのサイトに掲載されると自動的にほかのニュースサイトに流れるという形があり、1つずつピックアップされているわけではないことに留意すべき。 ●転入者にはそれぞれの転入理由があるが、どんな理由が含まれていたとしても転入者が毎年増加していれば効果があったと言い切ってしまうのも良いと思う。様々な取組をシティプロモーションとして推進している中で、どれが一番呼び込んで成功したのかはわからないので、指標については転入者の実績値の方が良い。 ●現在の指標だけでこの施策を評価すると厳しい結果となるかもしれないが、事後評価コメントや取組まで含めて施策評価を行いたい。中央学院大学の地域連携カイギ部との連携開始の情報共有もあり、施策の評価としてプラスの方向性だと思われるが、指標が全国順位基準となってしまうと難しい。 ●市民満足度のようなところで考えても良いかもしれない。 ●プロモーション活動をどの媒体に効果的に出していくかが重要で、我孫子市の観光大使のラジオに広告を打つなど、現在のPR方法は軌道に乗っているように感じる。コンテンツそのものやメディア媒体について右往左往する段階は超えているのではないかと。 ●次の視点として、転入者を増やすだけではなく、転出抑制策も推進していくべき。社会増減でしっかり数字を出していけばいいのではないかと。
	秘書広報課	魅力度(地域ブランド調査点数)	点	5.8 (R3)	6.5	6.4	未達成		
	秘書広報課	認知度(地域ブランド調査順位)	位	256 (R3)	237	250	未達成		
	秘書広報課	認知度(地域ブランド調査点数)	点	33.8 (R3)	35.0	32.8	未達成		
	秘書広報課	情報接触度(地域ブランド調査順位)	位	279 (R3)	253	352	未達成		
	秘書広報課	情報接触度(地域ブランド調査点数)	点	21.0 (R3)	22.7	17.8	未達成		
	秘書広報課	居留意欲度(地域ブランド調査順位)	位	375 (R3)	317	409	未達成		
	秘書広報課	居留意欲度(地域ブランド調査点数)	点	5.8 (R3)	6.1	5.7	未達成		
	秘書広報課	あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	回	132 (R2)	155	600	達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者評価	有識者コメント
4-5 交流・関係人口の拡大	商業観光課	観光イベント来場者数	人	232,000 (R1)	232,500	224,000	未達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の指標の達成・未達成を重視する必要はなく、そもそもの指標の作り方、設定に課題があるのではないかと。例えば、市民のための祭と市内外からの来場者が参加する観光イベントを合算した指標を観光イベントの来場者数として評価することは難しい。また、観光関連施設の指標も手賀沼親水広場が実績のうち91%を占めているうえ、親水広場が観光関連施設に当たるのかという考え方もあり、今後どうしていくかが課題である。 ●手賀沼親水広場は観光施設というよりは、市民の憩いの場のような位置づけになっていると捉えている。交流関係人口の拡大と観光事業の目的が整理できていないように思われる。 ●ふれあいキャンプ場については、ソロキャンプが増えている社会的な動向やふれあいキャンプ場にソロキャンパーが惹かれる理由があるのかなどを分析する必要がある。キャンプそのものについては、一時のブームは落ち着いてきているが、東葛地区は人口が密集している地域としてはキャンプ場が多いと言えないため、利用者を増やせる環境はある。利用者層の整理をはじめ、ソロキャンプ向けの整備や、オートキャンプ場も少ないことから充電器や電気設備を備えることができれば、それを期待している利用者層も取り込むことができ、東葛エリア指折りのキャンプ場とできるのではないかと。 ●我孫子市の交流人口のターゲットを考えると、観光や旅行という言葉あまり使わない方が良い。我孫子市の地域特徴としては、全国から観光目的の旅行者が訪問する地域ではなく、近隣だけで多くの人口がいる商圏なので、ターゲットをしっかりと掴んだ施策を実施すべき。また、アビシルベの指定管理者がDMOの形成を目指すのであれば、DMO自体の一番の目的はインバウンドなので、進めていくのであれば、目的の明確化と展開する事業の分析が必要である。 ●観光の施策に特化したことではないが、社会変化・時代変化のスピードは早いので、目標や指標がずれていくということはある。指標を途中で変更できないという事情もあると思うが、一時はブランド総合研究所の順位はすごく話題になり、多くの市町村でシティプロモーションの指標に移住・定住の観点からもKPIに設定しているところが多かった。最近では、この順位だけで良し悪しを評価していない地域が多く、この順位変動をもとにした評価だけで施策を評価するのは適切ではない。 ●市民向けの観光イベントに来場者が急激に増えると、今まで何十年も参加していた方は不満を持つと思う。施策としては交流人口を拡大させることが目的であるので、ターゲットを明確にし、市外の人を呼び込む企画作りが重要である。 ●スマートサイクルについては、導入したから観光客が増えるというものではないので、どのような目的で利用されるかを精査した上で、手軽に借りられるような工夫をお願いしたい。 ●自転車を借りるところには、我孫子の地域資源、観光にかかわるパンフレットのものを置くと良いのではないかと。 ●全国というよりは周辺地域からどれだけ呼べるかということと、外国人観光客が成田空港から成田線一本で来れるというメリットをどう生かすかを考えていくと良いのではないかと。我孫子市としては手賀沼が一番イメージとしては大きいですが、手賀沼を挟んで隣接している柏市とスマートサイクル事業も含め手賀沼の活用では連携していけると良いのではないかと。 ●基本目標2の達成に向けて、ブランディングとマーケティングのどちらに軸を置くのか検討が必要。 ●地元の事業者からすると、遠方からでも近隣からでも、どこからでもいいからたくさん来てくれた方が良い。そのことをまず理解し、お金を落としてもらえれば、マーケティング効果としての交流人口拡大となる。入り込み客数が増加して、お金を落とさなくとも良いまちと提供いただければそれはブランディングができたことになる。まち全体のブランド化と関わってくるので縦割りではなく、地方創生の枠組みのなかで複数の関係課が考えながら取り組むことで消費額の増加だけではなく最終的には移住につながっていく可能性はある。 ●関係する課が多いが、横断的な情報共有や意思統一を図ることは重要であると考えている。
	商業観光課	観光関連施設来場者数	人	507,379 (R1)	512,753	535,746	達成		
	文化・スポーツ課	市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数	人	201 (R2)	217	261	達成		
	文化・スポーツ課	ふれあいキャンプ場利用者数	人	8,730 (H30)	9,153	5,293	未達成		
	商業観光課	観光意欲度(地域ブランド調査順位)	位	764 (R3)	709	840	未達成		
	商業観光課	観光意欲度(地域ブランド調査点数)	点	15.5 (R3)	16.2	14.5	未達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興	文化・スポーツ課	文化芸術団体が開催したイベント(後援等)の入場者数	人	46,137 (R1)	47,091	37,786	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナ前の基準・状況に戻るということではなく、現在が新しい基準として視点を変えて数値目標を捉えたり、変更したりする必要があるのではないか。文化・スポーツ課の取組自体の頑張りや読み取り、生涯学習課との連携も良いように感じる。 ●指標としてはすべて未達成ではあるが、1つを除いてすべて前年度よりも数値が上昇している。今後は実施しているイベントも含めて飽きられないようにしていくべき。文化施設については指定管理ではないが、観光分野と営業的な要素を取り入れて進めていくと良いのではないかと。 ●我孫子市にとって文学に関するコンテンツは重要な位置付けであり、歴史文化財と文学の要素がつながるのか、どこまで訴求できるのか、よく分析が必要。 ●めるへん文庫については、数値が唯一前年度より減少しているが、業務委託してこの状況なのであれば、委託先と結果の要因分析をしなければ、減り幅が大きいので問題ではないか。ワークショップイベントの実施やSNSでの全国発信による知名度向上も取組としては良いものの、応募者がこれだけ減少してしまっているのが、業務委託先の手法等について疑問が出てきてしまう。募集の仕方にも問題があったのか、募集期間にも問題があったのか、数名の減少幅ではないためよく考えるべき。 ●高校生の応募が増え小中学生は減ったということだが、学校側からの声掛けをもう少しプッシュすれば件数は伸びるのではないかと。 ●市民文化祭は湖北地区公民館で開催されており、参加者がどうしても東側の地域に限定されてしまうため、例えば市の中心に近いところに市民会館のような文化施設があると、こういった事業でもっと集客できるのではないかと。もちろん多額の費用がかかることなので、将来的な話となると思うが、文化に対する意識は変わってくるかもしれない。 ●文化芸術や郷土芸能となると、興味のある人は遠くでも行くかもしれないが、J B Fなどのイベントと比べるとマニアックな部分があるので、広がりづらいと感じる。どこまで周知できているのか、関心がない方には届いていないと思うので、あらゆる機会を通じて周知やアピールをしていくべき。 ●若い世代は地元の情報に疎いので、子育て世代や転入してきた方々も含めてしっかり伝えられるような仕組みがあってもいいのではないかと。 ●所管課長のコメントにも、新たな視点での情報発信に取り組んでいるとあるので、この点については継続して行ってほしい。
	文化・スポーツ課	市民文化祭の来場者数	人	13,754 (R1)	15,169	9,777	未達成		
	文化・スポーツ課	めるへん文庫の応募者数	人	125 (R2)	150	99	未達成		
	文化・スポーツ課	郷土芸能祭の入場者数	人	247 (R1)	265	250	未達成		
	文化・スポーツ課	文化財施設等の年間見学者数	人	16,489 (H30)	17,159	14,748	未達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度施策評価結果一覧表

基本目標3 あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者評価	有識者コメント
3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	保育課	保育園等の待機児童数	人	0	0	0	達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●各学童保育室の入室率が高く、受け入れ過多となることが懸念される。 ●学童保育の需要が伸びており、運営側の人手不足が課題となっているのでは。
	健康づくり支援課	妊婦健康診査受診率	%	94.9 (R2)	96.6	96.2	未達成		
	健康づくり支援課	麻しん風しん予防接種対象者の接種率	%	96.1 (R2)	97.4	92.4	未達成		
	子ども支援課	学童保育室入室許可割合	%	96.5 (R2)	100	98.2	未達成		
	子ども相談課	緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	%	100 (R2)	100	100	達成		
3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	こども発達センター	受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	%	96 (R2)	97	98	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの発達に関して面談をした後に、開所時間の都合などで相談や療育に繋がらなかった方に対しては、民間のサービスを案内し定期的に状況を確認しているということならば、保護者の方にとっては相談の目的を達することができているとも捉えられるので、指標が適切でないといえる。保護者の満足度などの視点があっても良いのでは。 ●こども園の現場の立場からすると、こども発達センターはすごく良くやってくれていると感じている。保護者へセンターへの相談を紹介しても一歩踏み出すのがなかなか難しい方もいらっしゃるのでは、センター側の目標値が高すぎるのでは。
3-3 魅力ある学校づくり	教育相談センター	不登校児童生徒への対応率	%	100 (R2)	100	100	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校児童生徒が増加傾向にある中で継続的な支援を実施していると思うが、その支援している人数に対して、教育支援センターに通っている人数や学校に通えるようになった人数を確認しながら今後も取組を進めてほしい。
3-4 心豊かにする体験・活動の推進	子ども支援課	あびっ子クラブ登録率	%	53.5 (R2)	55.7	54.4	未達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ●あびっ子クラブ登録率を指標としているが、放課後の居場所が特に必要がない児童は登録をする必要はないのでは。 ●チャレンジタイムの回数を指標としているが、参加している子どもたちや保護者の満足度が分かるとより正確に施策評価ができると思う。 ●学校への調べ学習支援件数を指標としているが、学校からの依頼以外に本を直接借りる場合はこの実績とならず、学校図書館の充実も進められているのであれば、指標の設定として再検討すべきではないか。
	子ども支援課	チャレンジタイムの平均実施回数	回	133.5 (R1)	152.3	190	達成		
	子ども支援課	あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	%	8.15 (R1)	8.52	4.86	未達成		
	子ども支援課	げんきフェスタに参加した子どもの割合	%	5.05 (R1)	5.28	8.64	達成		
	図書館	学校への調べ学習支援件数	件	73 (R1)	75	48	未達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度施策評価結果一覧表

基本目標4 あびこにずっと安心して住み続けられるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者評価	有識者コメント
2-2 健康づくりの推進	健康づくり支援課	特定健康診査の受診率	%	31.7 (R2)	60.0	35.3 (R4)	未達成	良好とはいえない	<ul style="list-style-type: none"> ●救急搬送の市内医療機関収容率の実績に対するコメントが、動向を注視していくという書き方になっているが、市としてどのように努めていくか、という姿勢が必要ではないか。 ●がん検診受診率の数値が未達成となっているが、大人を対象とするPRだけでなく、子どもや学生に対して、学校への訪問やSNSを活用したアプローチも行ってはどうか。日本は検診の受信率が低い傾向にあるので、工夫が必要だと考える。また、チラシのデザインの改善なども検討すべきではないか。 ●がん検診の種別ごとの傾向を把握し、対応できないか。 ●各健診等の受診率が低い中で、所管課長コメントの「疾病の早期発見・治療につなげることができた」というのは違和感があり、より向上を目指す観点での記述が適切ではないか。施策の評価としても、より工夫や改善を期待する意味での評価としたい。
	健康づくり支援課	特定保健指導の実施率	%	40.1 (R2)	60	23.6 (R4)	未達成		
	健康づくり支援課	がん検診受診率	%	6.2 (R2)	9.2	6.2	未達成		
	健康づくり支援課	救急搬送者の市内医療機関収容率	%	98.5 (R2)	90以上を維持	97.0	達成		
2-3 高齢者福祉の推進	高齢者支援課	要支援・要介護認定率	%	16.3 (R2)	18.2以下	17.9	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ●きらめきデイサービスの利用者が令和元年の計画当初より大幅に減少している。現状分析や今後の展望が不十分であると感ずるので、次年度に向けては検討が必要である。 ●介護保険制度内の予防事業と、このきらめきデイサービスで対象や内容が重複していないのか。事業間の役割を整理する必要がある。 ●最近では年齢が高い人でも、民間のスポーツクラブに通う人が増えている印象を受ける。きらめきデイサービスは日中に開催されるため、夜間など、自分の都合に合わせてスポーツクラブに通っている人もいると思われる。それを踏まえると、このきらめきデイサービスの利用者数という指標が未達成であることについて、必要な人に施策が行き届いていないのか、あるいは自身で対策をとっているのかの判断がつかないため、評価が難しい。 ●きらめきデイサービスの利用者数は目標値には達していないものの、前年に比べると増加していることを評価したい。
	高齢者支援課	きらめきデイサービス利用者数	人	1,340 (R1)	1,393	950	未達成		
	高齢者支援課	認知症サポーター養成者数	人	12,526 (R2)	14,951	16,185	達成		
	高齢者支援課	高齢者なんでも相談室への相談件数	件	27,937 (R2)	30,291	33,318	達成		
7-3 スポーツの振興	文化・スポーツ課	市民体育館の延べ利用者数	人	163,005 (R1)	172,337	156,863	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナの影響で参加者数が減少したのものもあるが、未達成の指標も工夫して取り組んでいるのがうかがえる。目標を達成していない場合も、前年に比べると増えている指標もあるので、概ね良好が妥当では。 ●引き続きイベント参加者が増えるよう工夫をいただき、来年度は状況を見て、取組の効果を検証しながら進めていってほしい。
	文化・スポーツ課	体育施設の延べ利用者数	人	74,980 (H30)	83,320	86,407	達成		
	文化・スポーツ課	市民体育大会の参加者数	人	2,924 (R1)	3,616	4,208	達成		
	文化・スポーツ課	チャレンジスポーツフェスタの参加者数	人	346 (R1)	397	428	達成		
	文化・スポーツ課	新春マラソンの参加者数	人	1,570 (R1)	1,713	885	未達成		
	文化・スポーツ課	地域スポーツフェスタの参加者数	人	322 (R1)	381	214	未達成		
	文化・スポーツ課	ファミリースポーツテストの参加者数	人	201 (R3)	234	122	未達成		
1-1 防災・減災対策の推進	市民安全課	自治会による自主防災組織の組織率	%	70.5 (R2)	71.6	74.1	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織で高齢化による担い手不足の状況が見られるということだが、消防団においても担い手不足が懸念される。
	市民安全課	自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	組織	18 (R2)	20	21	達成		
	警防課	消防団訓練参加率	%	60 (R1)	60以上	90	達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者評価	有識者コメント
1-2 浸水対策の推進	治水課	浸水対策達成率	%	67.0 (R2)	69.3	68.0	未達成	良好	●単年度では目標に達していないが、事業の全体スケジュールを考慮すると、令和9年度には事業が完了し、目標も達成できる見込みで進行管理が行われていることが確認できた。
1-3 防犯対策の推進	市民安全課	刑法犯認知件数	件	590 (R2)	590以下	607	未達成	概ね良好	●市の活動内容と、令和6年度特に増加した侵入盗、自転車窃盗の増加とは関連があるのか、取組の方向性がずれているということはないか把握しているか。 ●県内全体で増加していることを鑑みれば我孫子市内の件数は抑えられているということなので、市の取組が功を奏しているとも捉えられる。どう対策するかは個人に委ねられると思うが、情報提供は大事であるので、引き続き組織的に取り組んでいただきたい。 ●パトロールの人数は減っているが、報告回数は67回から73回に増えており、こまめに見回っていることが犯罪の防止に繋がっていくと思うので、この状況を維持していくことが重要であると考え。
	市民安全課	市内一斉パトロール延べ参加者数	人	1,482 (R2)	1,511	1,757	達成		
1-4 消防力の強化	警防課	災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	%	56.5 (R2)	74.7	42.1	未達成	概ね良好	●指標の達成状況だけ見れば未達成が多いものの、一つひとつの状況を見れば、全国的に災害が増えている状況であったり、火災で亡くなる方は当然0であるべきといった指標の設定自体が大変厳しいものになっていたりするので、一定の評価はすべきと考える。
	警防課	住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	人	0 (R2)	0	1	未達成		
	警防課	救命講習年間受講者数	人	5,578 (R1)	6,338	4,684	未達成		
	予防課	消防用設備等の点検報告率	%	53.0 (R2)	58.7	60.0	達成		
1-5 交通安全の推進	市民安全課	交通事故による死者数	人	4 (R2)	3以下	0	達成	良好	●施策の目的に「安全な交通環境の整備」を進めるとしているが、評価表ではそれに対する取組が見えてこない。
	交通政策課	交通事故の発生件数	件	242 (R2)	241	209	達成		
5-3 公共交通の利便性向上	企画政策課	JR成田線の1日の往復本数	本	40 (R2)	42	40	未達成	概ね良好	●あびバス、ふれあいバスの利用状況を見ると、新型コロナの影響による減少やそこからの回復度合いがバスルートによって違いが見られるが、傾向の分析や対策を考えているか。 ●電車の乗り入れ本数など、第三者に対して働きかけを継続すべき内容もあることから良好とは言い難いが、バスについてはコロナ禍の減少からの回復基調が落ち着いてきた中で大幅な利用者増は難しいとも考えられるため、概ね良好が妥当ではないか。 ●引き続き要望活動を継続しつつ、市民の日々の交通手段の確保にかかる対策も考えていただきたい。
	交通政策課	JR常磐線駅ホームドアの累計設置数	基	0 (R2)	2	2	達成		
	交通政策課	あびバスの延べ利用者数	人	205,443 (R1)	210,295	194,273	未達成		
	交通政策課	市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	人	16,609 (R2)	17,073	16,762	未達成		
	企画政策課	東海道線との相互乗り入れ往復本数	本	0 (R2)	1	0	未達成		
5-4 安全で快適な道路の整備	道路課	都市計画道路の整備率	%	59.2 (R2)	59.6	59.4	未達成	概ね良好	●アダプトプログラムの指標の対象が市の管理部分ということなので、市による働きかけがない限り実施箇所は増加しないのではないかとと思うが、何か行っているのか。また駅前に限ったとしてこれ以上増えることがあるのか。可能なら増えた方がよいと思うが、指標の設定上難しいのではないか。
	道路課	道路瑕疵による賠償件数	件	5 (R2)	3	1	達成		
	道路課	駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	箇所	6 (R3)	8	6	未達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5目標値	R5実績値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
6-3 生活環境 の保全	生活衛生課	地下水水質環境調査における 環境基準達成率	%	80.0 (R2)	86.7	60.0	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●地下水の環境基準達成率について、市としては調査により未然に危険な箇所が生じることを防いでいるということなので、自然由来の成分により環境基準の達成率が下がったという理由で施策の評価が低くなるのはいかかかと思う。 ●騒音対策についても、市としては騒音が懸念される箇所に防音壁を設置するなどの対策をとっているとのことだが、そういった対応によりこの指標の数値が改善するものではないならば、指標の設定が適切ではないのではないか。 ●今後もモニタリングを継続していただき、適宜必要な対策を行っていただくようお願いしたい。
	生活衛生課	市内の騒音環境基準達成率	%	77.8 (R2)	85.2	78.6	未達成		
効率的・効果的な 行財政運営の推 進	人事課	一人当たりの時間外勤務数	時間	115.1 (R1)	109.3	103.2	達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●十分な財源確保について機会を捉えて国等へ要望していただきつつ、必要な事業を必要な形で実施しながら、財政の健全化も目指していただきたい。 ●中期財政計画を見ると、今後もより厳しい状況が続くということが見てとれることから、施策として肯定的な評価は難しい。
	財政課	経常収支比率	%	93.3 (R2)	全国の類似 団体の平均 以下	92.9 (R4)	未達成		
	財政課	財政調整基金の年度末残高	万円	234,700 (R2)	標準財政規 模の10%	421,700 (R4)	達成		
	収税課	市税(現年課税分)の収納率	%	98.71 (R2)	98.81	98.92	達成		
7-1 生涯学習 の推進	図書館	図書館の年間貸出冊数	冊	982,928 (R1)	988,619	883,337	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●湖北地区公民館も自習での利用ができるよう進めてはどうか。 ●各施設利用者が減少しているが、施設の休館が重なったという事情も考慮すると全体として落ち込んでいるとは言えず、一層の努力を期待したい。
	図書館	図書館利用の登録率	%	35.3 (R2)	35.9	29.4	未達成		
	生涯学習課	我孫子地区公民館の年間利用率	%	60.5 (R1)	61.5	57.4	未達成		
	生涯学習課	湖北地区公民館の年間利用率	%	45.0 (R1)	46.0	43.3	未達成		
	生涯学習課	公民館学級・講座、出前講座の 延べ受講者数	人	9,626 (R1)	9,717	6,638	未達成		
	鳥の博物館	鳥の博物館年間来館者数	人	32,624 (R1)	33,416	24,971	未達成		
市民とともに つくる協働による まちづくりの推 進	市民協働推進課	市民交流を目的としたイベント の参加者数	人	2,488 (R1)	2,825	1,030	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動ステーションの印刷機の利用が減ったことは、LINEの活用などが進んだ結果とも言えるので危惧することではないと感じる。また近隣センターの稼働率も未達成ではあるが、エアコンの故障による利用の停止などで仕方ない面もある。ただ、自治会・町内会の加入率については、加入世帯数が変わらないということは同じメンバーでずっと維持していて、アラウンド80がいなくなったら崩壊するということも多いと推測されるので、今後どのように維持していくかは難しい問題である。 ●各指標、社会全体のポストコロナの状況下の数字の動きであり、市も様々な工夫をしていることが見て取れる。人口減少・少子化が進んでいく中で、地域のコミュニティを支える、基礎となる部分については継続的に努力をしていただきたい。
	市民協働推進課	市民活動ステーションの利用 件数	件	6,766 (R1)	6,844	5,394	未達成		
	市民協働推進課	自治会・町内会への加入率	%	69.9 (R2)	71.3	67.7	未達成		
	市民協働推進課	近隣センターの稼働率	%	46.5 (R1)	46.5以 上	42.7	未達成		
	秘書広報課	市ホームページのアクセス数	アクセス	9,753,855 (R1)	10,124,570	15,804,208	達成		